

受付番号：2019-1-311

課題名：前立腺がんにおけるアンドロゲン受容体制御メカニズムの解析

1. 研究の対象

過去(2013年4月～2018年3月)に宮城県立がんセンターにて採取され保存されており、すでに個人の特定ができないよう匿名化されている前立腺がん病理標本。

2. 研究期間

2018年5月(倫理委員会承認後)～2020年4月

3. 研究目的

前立腺がんの病理標本の抗体染色により、IRF2BPL 陽性細胞とアンドロゲン受容体 (AR) 陽性細胞を比較することで両者の機能的関連を明らかにする。

4. 研究方法

前立腺がん組織の病理標本を用いて抗体染色を行う。アンドロゲン受容体と IRF2BPL の抗体染色を行い、サンプルを顕微鏡観察することで両者の局在部位を解析し共局在の有無を検討するとともに、悪性度の指標と IRF2BPL の発現量の相関も解析する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象は、過去(2013年4月～2018年3月)に宮城県立がんセンターにて採取され保存されている前立腺がん組織標本で、かつすでに連結不可能匿名化された臨床情報が試料に紐付いた形で保管されているものを用いる。

6. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行わない。宮城県立がんセンターにて作製された免疫染色試料は手渡しにより本学医学系研究科に提供される。受け渡しの際には受領証を発行する。

7. 研究組織

東北大学大学院医学系研究科分子内分泌学分野、助教、	横山 敦 (責任者)
東北大学大学院医学系研究科分子内分泌学分野、教授、	菅原 明
宮城県立がんセンター、泌尿器科、医療部長、	川村 貞文
宮城県立がんセンター、病理診断部、医療部長、	佐藤 郁郎

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学大学院医学系研究科分子内分科学分野

横山 敦（研究責任者・代表者）

TEL 022-717-8079, FAX 022-717-8083

E-mail ayokoyama@med.tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合